

ロータリー！
変化をもたらす

Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

国際ロータリー会長

イアン H.S.ライズリー

長井ロータリークラブ会長 渡辺 清隆

第2800地区ガバナー 鈴木 一作

長井ロータリークラブ幹事 大道寺 信

第6ブロックガバナー補佐 小林 正芳

パストガバナー 渡部 保太郎

例会日 毎週火曜日 12:15~13:15

例会場 タスパークホテル TEL0238-88-1833

事務局 長井商工会議所内 TEL0238-83-2047

会報委員 土屋 茂樹・浅野 敏明・栗田 正彦・齋藤 圭央

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成30年4月24日(火曜日) 第2,745回

<例会報告 NO.31>

【月間テーマ】 母子の健康

会員卓話 浅野 敏明 会員

★ 会長挨拶(渡辺清隆会長)



22日の日曜日に7時半出発で行き2時間30分、帰り2時間ちょっとかかって酒田まで行って来ました。酒田まではやはり遠いです。散り始めの桜を眺め、残雪の月山道を走り、地区研修協議会へ遠藤さんと那須さんの車で、伊藤さん、大山さん、大滝さん、浅野さん、圭央さんとで出席して来ました。上林直樹ガバナーエレクトの次年度の方針について、続いて安孫貞夫パストガバナーの「クラブ奉仕について」の講話がありました。後日、遠藤エレクトよりお話があると思います。そして分科会、東北公益文科大学の広くて、かなり分かりにくい構内の渡り廊下を行き、会員増強の分科会の部屋に入りました。守屋文夫委員長の進行で、酒井彰パストガバナーのお話があり、出席者全員の自クラブの取り組みなどが話されました。どうやって入会にこぎつけるのか、多くのクラブではJCからの卒業生を数日たってから、義理と人情と誓いであたるということでした。また、あるクラブでは、町にロータリーが二つあって、どちらにも義理が立つようにと、ライオンズに皆入ってしまうというクラブもありました。

山形北ロータリークラブでは、50周年をした後に橋本マナミさんが司会をしたり、懇親会にも出てくださり一緒に写真を撮ったりしました。その「マナミちゃん効果」で十数名が入会したそうです。周年記念やイベントは効果があるようです。他のどのクラブも会員が減っているようで、5年間で22名の会員が減っているとのこと、一つのクラブが無くなったことになり、庄内地区では、三つのクラブが無くなり、今回も12名いた立川ロータリーが、RI会長賞をクリアしましたがなくなりました。他のクラブへ行く方もいるそうですが、隣の町に行くことになるので長くは続かないようです。

一業種一名とした方が良いのでは?などの意見も出ました。酒井パストガバナーからは、田中角栄の語録の一つ「政治は数であり、数は力、力は金なり」を引き合いに出して、ロータリーの行動指針としては嫌われるかもしれないが、この語録が会員増強と根底でつながっていて「数と金とブランド」を守ることであると言われました。米沢は四クラブとも会員が増えているそうです。酒井パストガバナーも会員を増やすには「義理と人情と誓し」と言っておられました。そうかもしれません。

5月の20日、日曜日に行く旅行ですが、今のところ、10名分のTYOでホテルを取っています。行って下さる方は今のうちに私までお願いします。27日で〆切ります。よろしくお願いします

★ 幹事報告(那須修副幹事)

地区事務所より地区事務所移転のお知らせをいただいております。寒河江にある事務所を4月27日金曜日をもって天童市桜町に移転するそうです。電話、FAX、メールの変更はないそうです。



2018-2019年度、次年度の第1回の理事会を本日、6時30分より、きらくさんで開催いたします。該当する方はよろしくお願いたします。

★委員会報告

RYLA 小委員会 前田昌信委員長



4月19日、RYLA開催の現地の視察に行っていました。とても山深いところでした。4月16日現在でRYLA出席者が19名ということで、再度募集をかけているところです。4月末をめ30名を超える人数を予定しております。もし、知り合いの方がいらっしゃいましたら、私の方までお願いいたします。

出席委員会 伊藤克也委員長

4月27日に委員会を開くということでお話させていただきましたが、何をしたいのかと、ご指摘をいただきました。クラブ管理運営委員会の方と自分の代までの会長・幹事の予定者が同じく重なっている方がいるということもあり、クラブ管理運営委員会の合同会議ということで、60周年を視野に入れて会議を開催したいと考えますのでよろしくお願いたします。

4月	<在籍年数表彰>		
	・手塚 典雄	会員	14年
	・前田 昌信	会員	14年
	・尾形 和夫	会員	11年
	・高橋勇喜知	会員	9年

★会員卓話 浅野 敏明 会員

官民連携による公共施設整備

昨年の6月の一般質問でも取り上げさせていただきましたが、これから自治体の大型公共事業については、官民連携による事業について検討したうえで、従来の方式もしくは、官民連携を行うと、国の方の指導も行われています。

ということで、長井市公共整備の事業につきまして、今後の仕法として提案をさせていただきました。



長井市が現在、公共施設整備計画を出していますが、整備スケジュールがあります。市庁舎につきましては、平成32年度、33年の3月まで整備することで国の財政支援受けられることから、今回の機会を逃せば、今後大きな負担が残ることになります。市営住宅については、長期の計画で行う予定です。平野小学校、小中学校空調設備は既に完了しております。文化会館は平成30年度の予定でしたが平成31年度の計画として行う。新規施設の観光交流センターの「川のみなとながい」も完成しました。公共複合施設として子育て支援施設・多機能型図書館などを取り入れた計画を進める。インフラ整備では、橋梁・上下水道施設を監修中、あやめ公園(運動公園)はテニスコートなどを完成。また、道路・河川につきましては改修を行っております。

概算事業費として前期5年で111億4千万円、後期5年で29億9千万円、合計で141億3千万円となり、長井市の負担が100億を超える事業費となります。

PPP(Public Private Partnership)官民連携とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を利用し、財政資金の効率的仕様や行政の効率化等を図るもので、いくつかの方式があります。

PFI(Private Finance Initiative)とは、民間資金等活用事業で、公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、同一水準のサービスをより安く、又は、同一価格でより上質のサービスを提供する手法。

長井市の公共施設整備には、これらPPP・PFIで出来るものと、また、活用が難しいものがあります。

これらの事業スキーム、基本的な仕組み、実施状況をとらえて、様々な事業例から、その手法を活用した効果や、課題などを参考に、今後の長井市の整備、行政に提案をしていきたいと考えてます。

★次回例会予定

5月8日(火) 12:15~

ゲスト卓話 村上 滋郎 氏(アメフラシ代表)

★出席報告

4月 24日 例会 報告者 伊藤克也委員長

	会員数 (免除)	出席数	出席率	MU数	修正 出席数	修正 出席率
本日	29	21	72.41 %			
前回 (4/18)						
前々回 (4/10)						